

沿革

本市の下水道は、単独公共下水道として大正 15 年に第 1 期事業が始まり汚水及び雨水の排除を目的に旧一宮市の中心部 275.5ha の整備を進め、昭和 10 年に供用を開始しました。

その後、大戦等のため一時中断を経ましたが、昭和 27 年より第 1 期事業に隣接する市街地地区を第 2 期拡張事業として、事業に着手しました。そして昭和 35 年に東部浄化センター、昭和 39 年に西部浄化センターがそれぞれ運転を開始し、昭和 55 年には東部処理区 251ha 及び西部処理区 289ha を合流区域とした 540ha の整備を完成させました。

その後、既成市街地周辺が土地区画整理事業により市街化が進んだことを受けて、昭和 56 年より第 3 期拡張事業を東部処理区の分流区域として整備を進め、昭和 63 年には東部浄化センターの増設部分の運転を開始し、平成 26 年度末現在約 931ha の区域を供用開始しています。

さらに、平成 21 年度には繊維産業関連の工場排水の処理を行うため昭和 32 年に事業着手した特定公共下水道を、西部処理区の分流区域として統合を図り、合流区域と合わせて 433ha としました。

また、この単独公共下水道とは別に流域関連公共下水道においては、平成 2 年度（平成 3 年）より日光、平成 5 年度より五条の 2 つの流域関連の事業に着手し、平成 17 年 4 月の合併（一宮市・尾西市・木曽川町）を経て、令和 2 年度末現在、日光川上流処理区は 2,087ha、五条川右岸処理区は 571ha を供用開始しています。

一宮市の主な下水道事業の沿革

1926 (T15)	第 1 期下水道事業着手
1935 (S10)	第 1 期下水道事業完了〔275.5ha〕 柳戸ポンプ場運転開始
1952 (S27)	第 2 期下水道事業着手
1960 (S35)	東部浄化センター運転開始
1964 (S39)	西部浄化センター運転開始 平和ポンプ場運転開始
1980 (S55)	第 2 期下水道事業完了〔合流計 540ha〕
1981 (S56)	第 3 期下水道事業着手
1988 (S63)	東部浄化センター(増設部)運転開始
1991 (H 3)	日光上流流域関連下水道事業着手
1993 (H 5)	観音寺ポンプ場運転開始 五条川右岸流域関連下水道事業着手
2001 (H13)	五条川右岸流域関連公共下水道の一部供用開始
2002 (H14)	常願通ポンプ場運転開始
2004 (H16)	日光川上流流域関連公共下水道の一部供用開始
2005 (H17)	二市一町合併(一宮市・尾西市・木曽川町)
2009 (H21)	特定公共下水道を統合
2017 (H29)	北園通貯留槽完成